

## 指標の意義

・身体抑制の実態を把握し、早期に抑制解除を行う努力が継続されているかどうかを検証する。

## 指標の計算式、分母・分子の解釈

期間	各指標の計算式と分母・分子の項目名	分母・分子の解釈
分子	身体抑制を実施した延べ日数（A、B、C 共通）	6歳以下およびセンサーマットを除く
分母	A) 当月の身体抑制を実施した実患者数 B) 当月の入院患者延べ数（退院患者延べ数含む） C) 複数スタッフで検討した記録のある回数	
収集期間	1ヶ月毎	
調整方法		

## 考察

A) 最小値 6.75 25%値 10.93 中央値 14.23 75%値 16.42 最大値 23.81

B) 最小値 0.00 25%値 0.06 中央値 0.10 75%値 0.19 最大値 0.31

C) 最小値 0.54 25%値 1.00 中央値 1.26 75%値 8.60 最大値 19.01

回答病院 A) B) は63病院 C) は56病院

A) B) については、回答病院前年より3病院減少しています。うち、年間通してデータ登録があったのはA)は46病院、B)は45病院でした。A)の年間通してのデータ登録数が昨年より11病院減少しています。

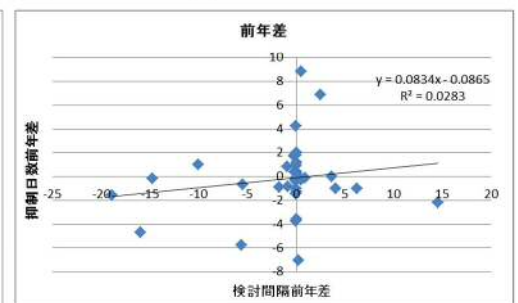
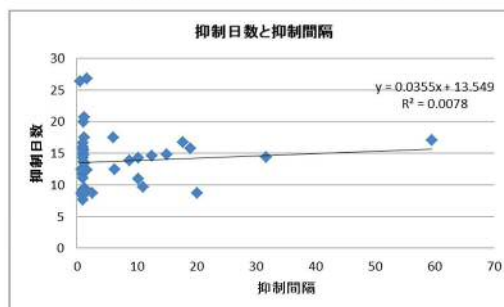
A) 抑制日数は中央値で0.22日増加。 B) 抑制割合では中央値は変化ありませんでした。抑制日数は2016年に減少しましたが、その後増加傾向にあります。

C)の解除・軽減の検討頻度では、回答病院は3病院減少。中央値で0.43ポイント減少し、2016年からでは6.68ポイント減少しており、全体で検討頻度は向上しています。年間通してのデータ提出は42病院で5病院減少しています。今年度は、データ提出できている病院が減少しており、集計の工夫が必要です。

通年データ提出のあった病院のうち、1日のうちに複数回の検討がされている病院は9病院で、前年より2病院増加し、検討頻度が7日以上病院が11病院と前年より8病院減少していることから、解除に向けた検討や記録整備は継続されていると思われます。

抑制日数・記録回数の両方の数値が通年で提出されている41病院のうち前年比較が出来る39病院のうち22病院で検討頻度が短くなっており、そのうち14病院で抑制日数も減少していました。検討間隔が10日以上縮まっている病院が4病院ありました。しかし、検討頻度と抑制日数（検討頻度が短い方が抑制日数が少ない）、抑制日数と検討頻度の昨年差（昨年より検討頻度が短くなっている方が抑制日数も少なくなっている）では、それぞれ相関は得られませんでした。抑制解除に向けての具体的な検討が必要と思われます。

この指標では、一日のうち一時的に解除できたとしても、抑制日数としては1日と計算されるため、解除に向けた努力の評価がしにくくなっていると思われます。



## 改善・運用事例など

今年度の事例がないため、昨年事例を計上しています。

認知症チームの回診、介入が増え病棟全体の力量向上につながった。全職員学習会を行い評価、記録の重要性についてアナウンスし、意識向上に努めた。病棟カンファレンス、ナースカンファレンス等で討議していくことが徐々に意識付けられ検討間隔は短縮されている。

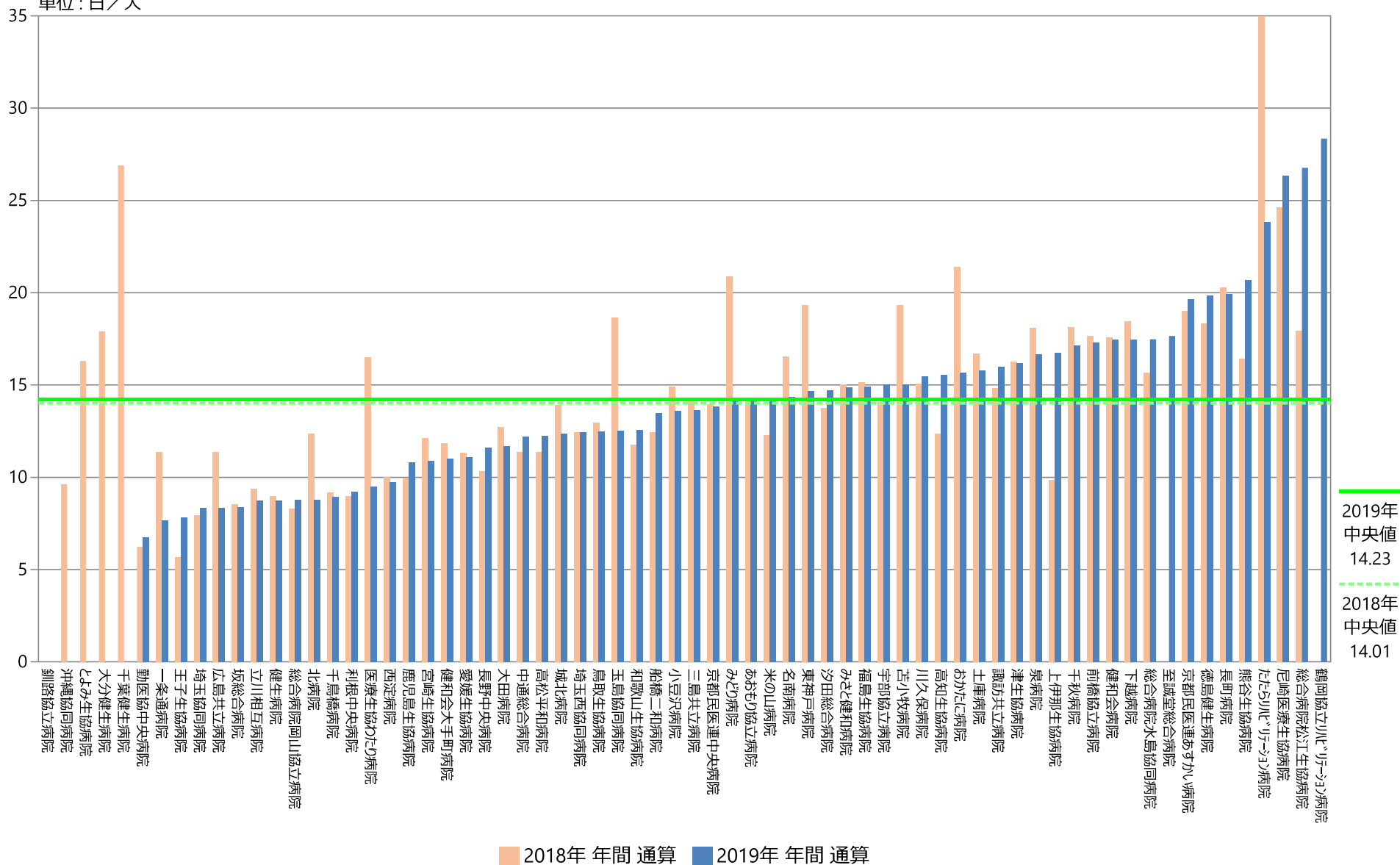
改善までには至らないが、入院患者のQOLを考慮し、毎日抑制解除の検討をすることになっている。病棟目標の一つにあげて、前年値よりの改善を目指している

看護職だけではあるが、毎日解除の検討ができています。



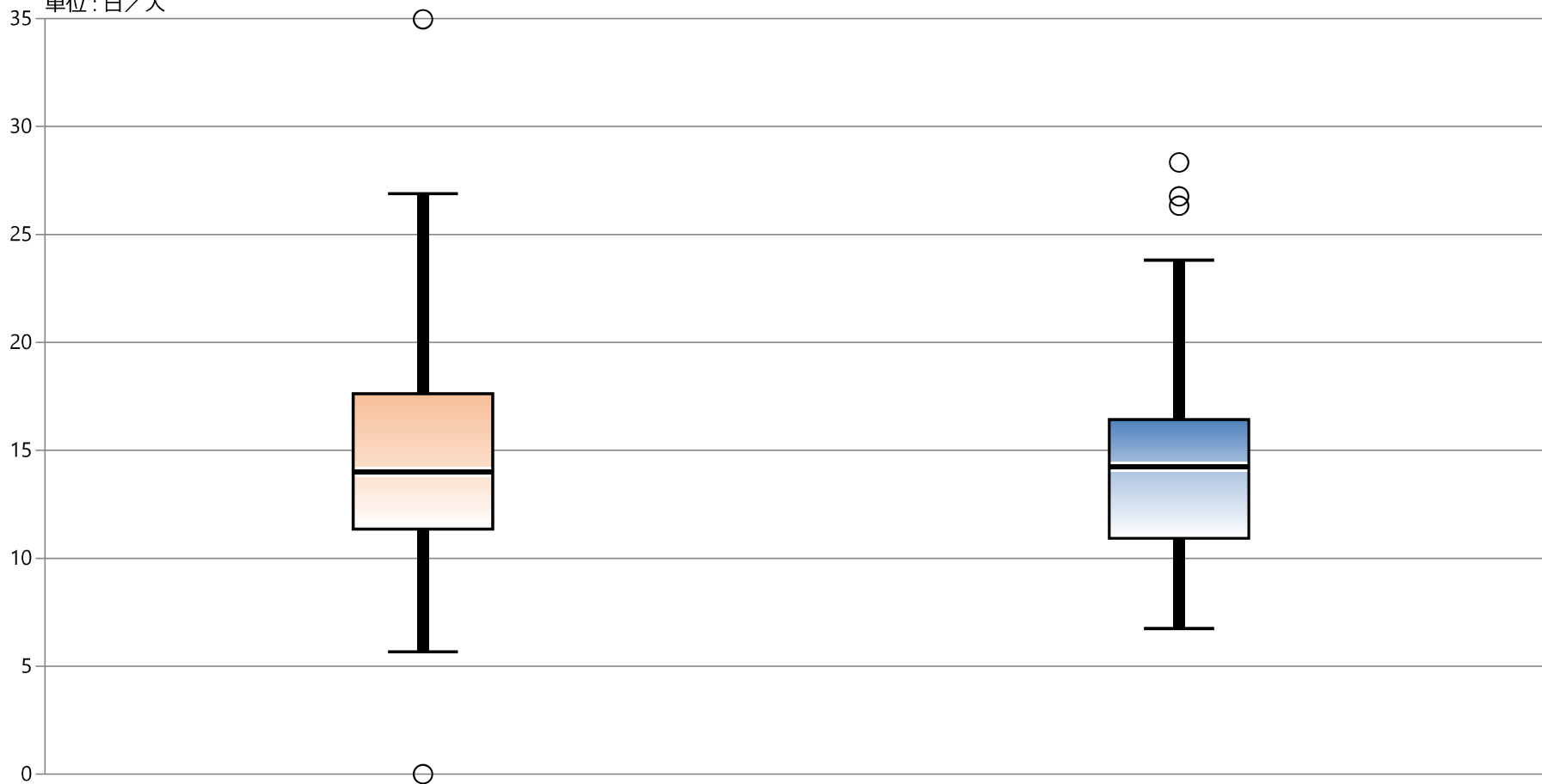
# 指標57A：医療保険適用病床における身体抑制患者1人あたり抑制日数

指標57A分母：当月の身体抑制を実施した実患者数  
 指標57A分子：身体抑制を実施した延べ日数（6歳以下およびセンサーマットを除く）  
 単位：日／人



## 指標57A：医療保険適用病床における身体抑制患者1人あたり抑制日数

指標57A分母：当月の身体抑制を実施した実患者数  
 指標57A分子：身体抑制を実施した延べ日数（6歳以下およびセンサーマットを除く）  
 単位：日／人

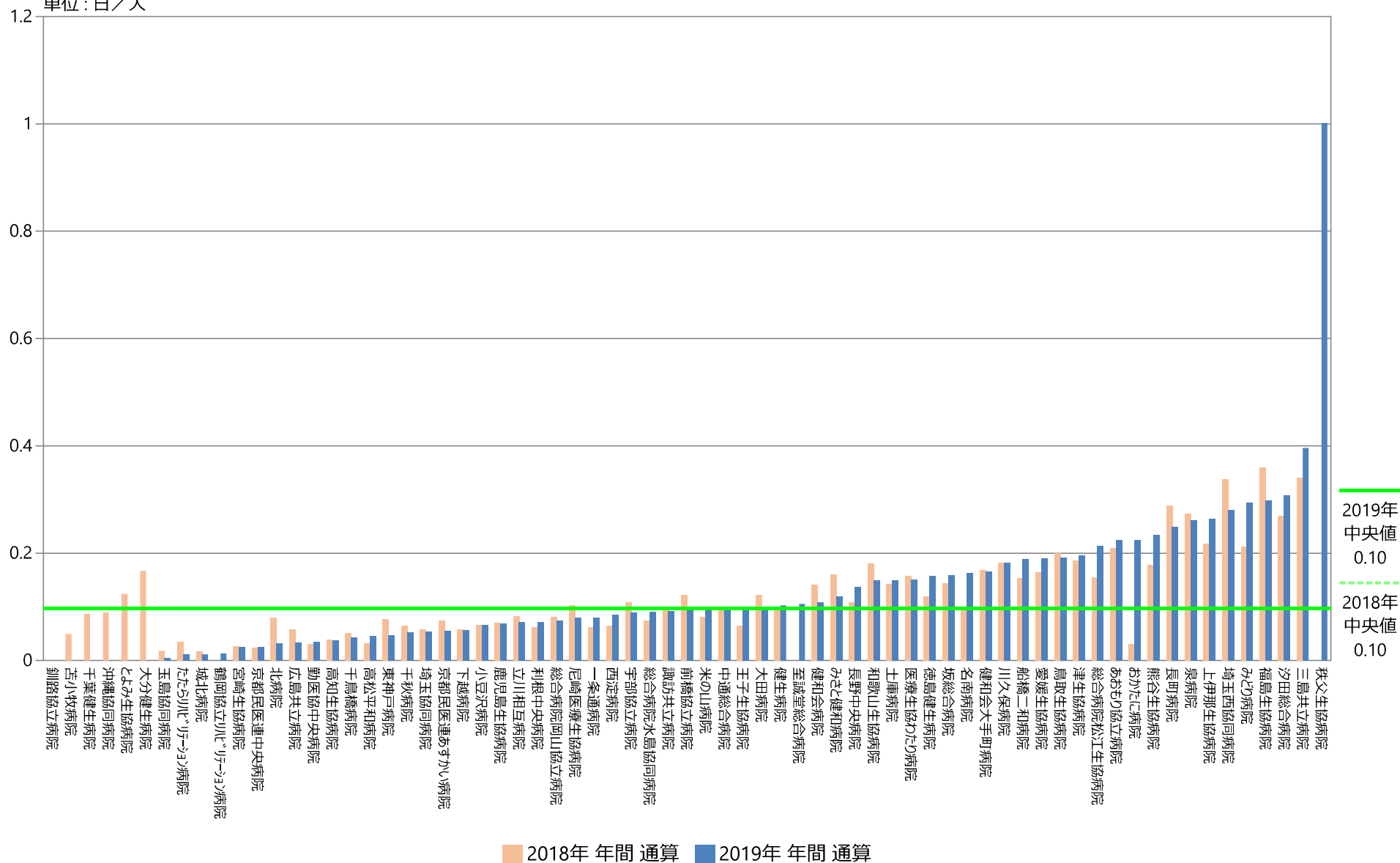


* 外れ値を除く	2018年 年間 通算	2019年 年間 通算
最大値*	26.89	23.81
75%値	17.62	16.42
中央値	14.01	14.23
25%値	11.35	10.93
最小値*	5.67	6.75



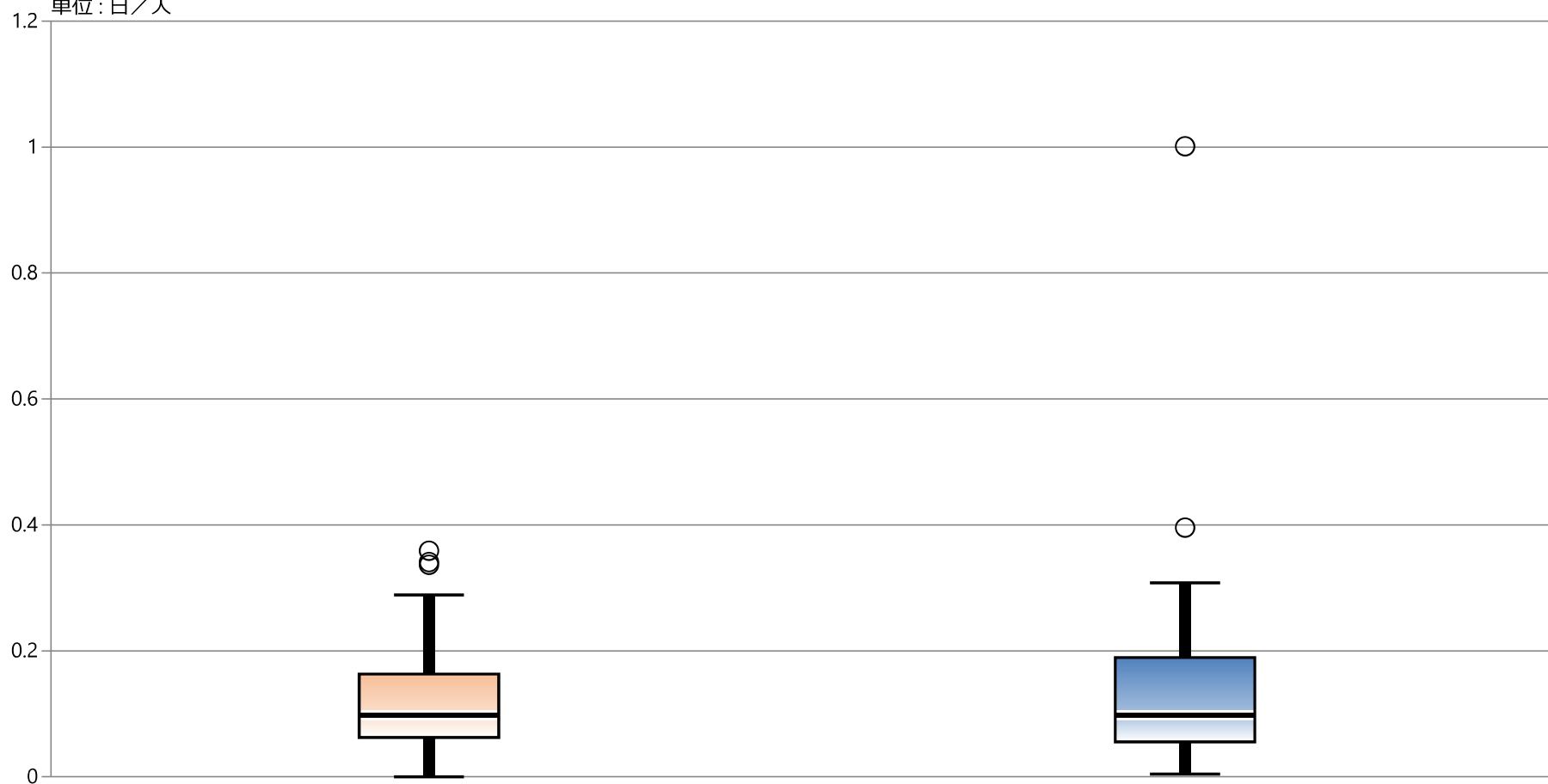
# 指標57B：医療保険適用病床における抑制割合

指標57B分母：入院患者延べ数（24時在院患者＋退院患者数の合計）  
 指標57B分子：身体抑制を実施した延べ日数（6歳以下およびセンサーマットを除く）  
 単位：日／人



## 指標57B：医療保険適用病床における抑制割合

指標57B分母：入院患者延べ数（24時在院患者＋退院患者数の合計）  
 指標57B分子：身体抑制を実施した延べ日数（6歳以下およびセンサーマットを除く）  
 単位：日／人



\* 外れ値を除く

	2018年 年間 通算	2019年 年間 通算
最大値*	0.29	0.31
75%値	0.16	0.19
中央値	0.10	0.10
25%値	0.06	0.06
最小値*	0.00	0.00

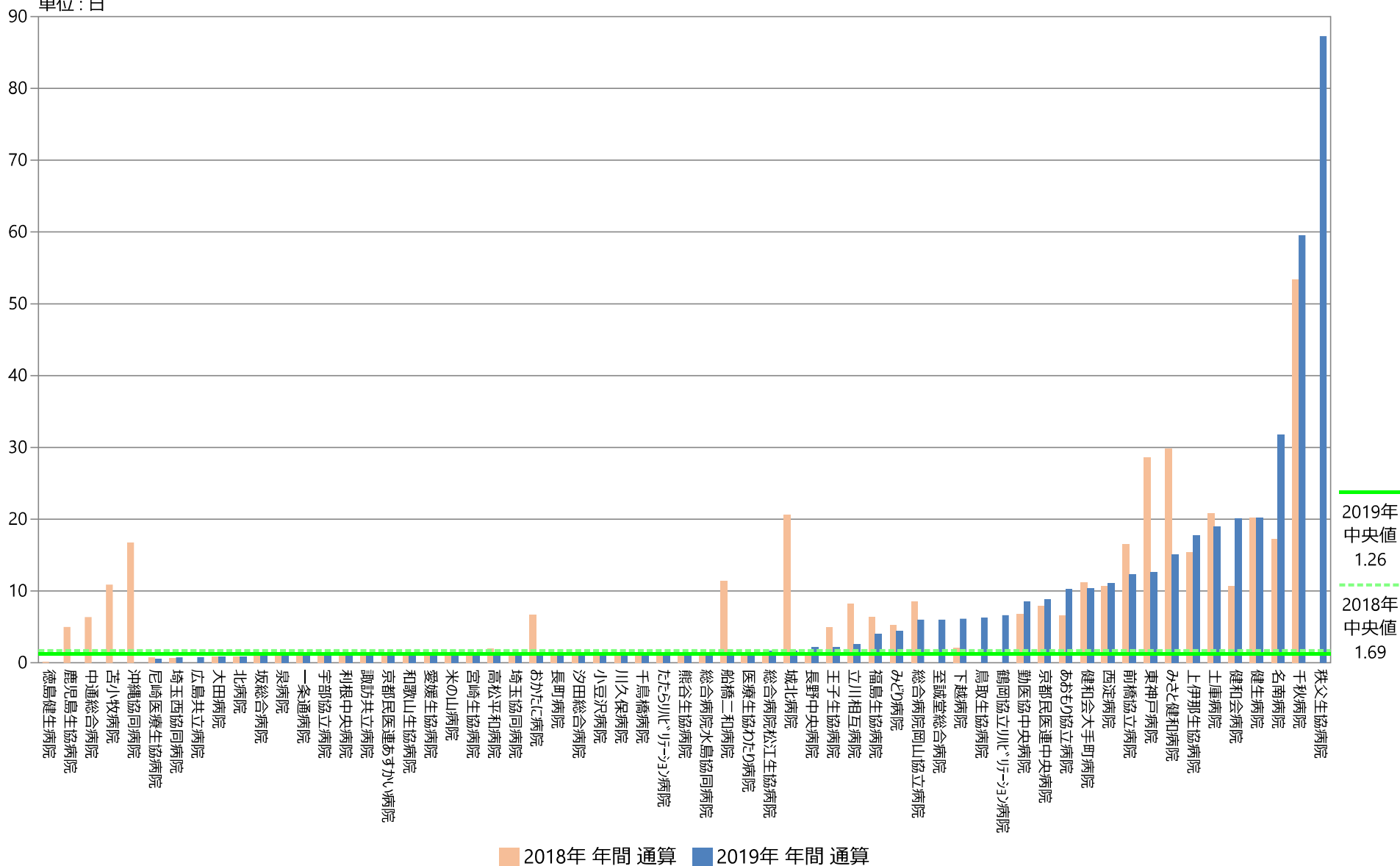




# 指標57C：解除・軽減の検討間隔（抑制延べ日数/検討延べ回数）

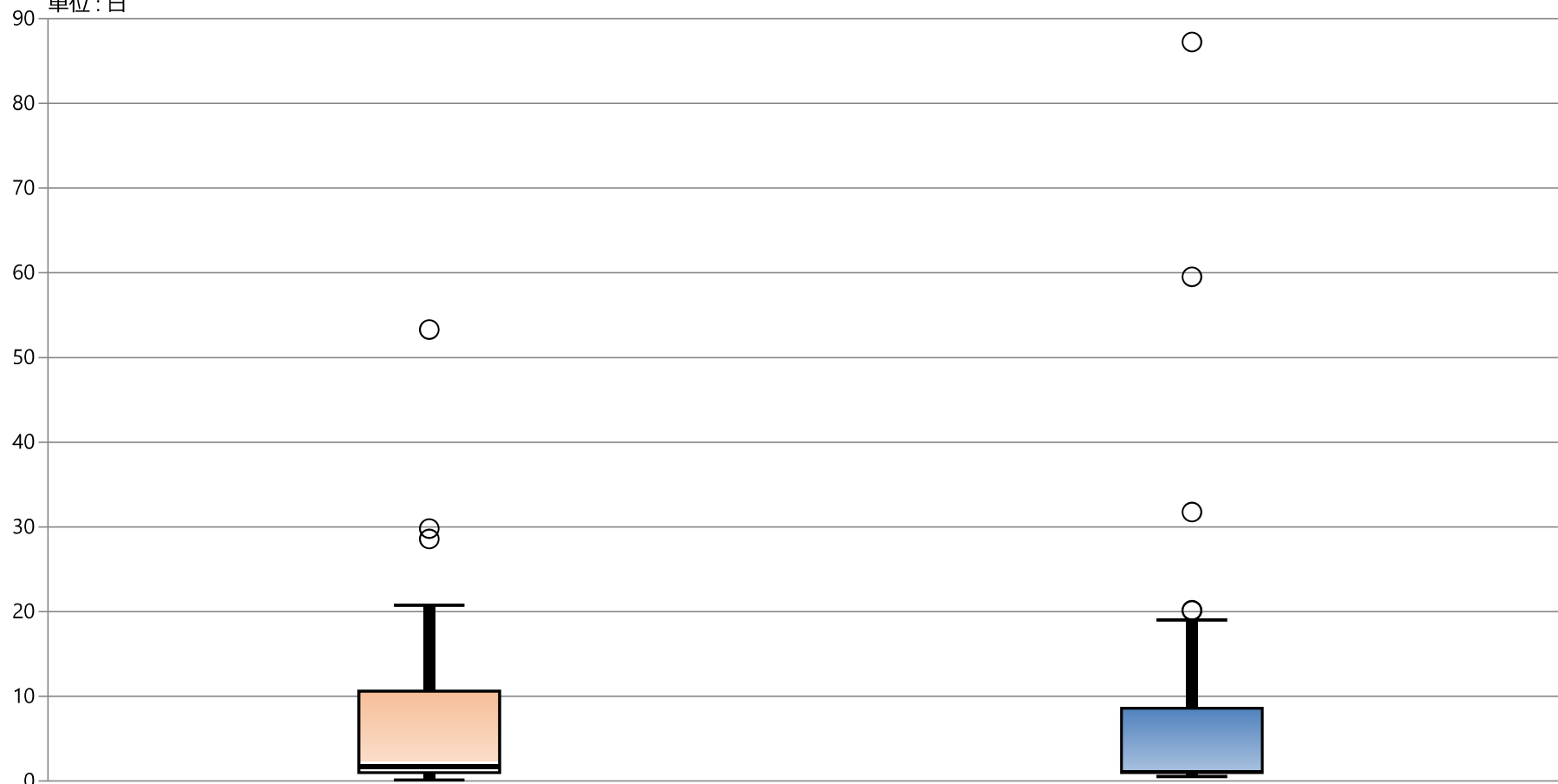
指標57C分母：複数スタッフで検討した記録のある回数（6歳以下除く）  
 指標57C分子：身体抑制を実施した延べ日数（6歳以下およびセンサーマットを除く）

単位：日



## 指標57C：解除・軽減の検討間隔（抑制延べ日数/検討延べ回数）

指標57C分母：複数スタッフで検討した記録のある回数（6歳以下除く）  
 指標57C分子：身体抑制を実施した延べ日数（6歳以下およびセンサーマットを除く）  
 単位：日



* 外れ値を除く	2018年 年間 通算	2019年 年間 通算
最大値*	20.75	19.01
75%値	10.61	8.60
中央値	1.69	1.26
25%値	1.00	1.00
最小値*	0.12	0.54